

# ガバナー一月信



## 月信 1月号

- ① ガバナーメッセージ
- ② 第7分区IMのご報告
- ③ クラブ近況報告(村上 RC)
- ④ クラブ近況報告(新潟 RC)
- ⑤ クラブ近況報告(新潟万代 RC)
- ⑥ クラブ近況報告(白根 RC)
- ⑦ クラブ近況報告(三条東 RC)
- ⑧ クラブ近況報告(柏崎 RC)
- ⑨ クラブ近況報告(津南 RC)
- ⑩ クラブ近況報告(越後春日山 RC)
- ⑪ 会員数及び出席報告
- ⑫ 地区主要行事予定(1月・2月)
- ⑬ 新入会員紹介・訃報
- ⑭ コーディネーターニュース
- ⑮ ハイライトよねやま

国際ロータリー第2560地区  
2021-22年度

**高尾ガバナー事務所**

新潟市中央区川端町6-53 ホテルオークラ新潟 1F  
TEL: 025-222-2561 FAX: 025-222-2565



## 謹賀新年

国際ロータリー第 2560 地区  
2021-22 年度 ガバナー

高尾 茂典 (新潟中央 RC)

謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

ロータリアンの皆様には、お健やかに新年をお迎えのことと慶賀の至りに存じます。

2019 年の暮れに発生した COVID-19 感染拡大は 3 年目になりますが、外出を控えて自宅で家族とゆっくり過ごされた方も多いかと思えます。私達の生活スタイルやロータリー活動に大きな影響をもたらしておりますが、ロータリーは様々な活動を止める訳には参りません。今出来ることを模索しながら、新しい生活様式やロータリー活動の取り組み方、そして実行する為のスタイルを理解し、ストレスを溜めない様にながら活動して参りましょう。

暮れの 12 月 5 日から 4 日間に渡って、恒例のロータリー研究会へ参加して参りました。今年度のテーマ「輝く未来を創る」を様々な角度から、報告、講話、基調講演、パネルディスカッション、表彰、フォーラムに規定審議会等、多岐に渡って未来を考える機会を頂きました。ロータリーも新しい未来に向かって、大きな転換期を迎えております。これらも踏まえて、ロータリアンの皆様と一緒に地区運営に活かして参りたいと思っておりますので、ご協力を賜りますよう宜しくお願い致します。

2022 年の干支の壬寅（みずのえとら）は、冬が長く厳しいほど春の芽吹きは生命力に溢れ、華々しく生まれる年になる、という意味の年ということです。ロータリアンの皆様にも素晴らしい春が訪れ、輝かしい 1 年になりますよう願って新年の挨拶と致します。



## 第7分区 IM を終えて（報告）

IM テーマ「クラブの将来を見据えた戦略計画」

国際ロータリー第 2560 地区

2021-22 年度 第7分区ガバナー補佐

風間 常樹彦 (越後春日山 RC)

国際ロータリー第 2560 地区第 7 分区 IM（インターシティ・ミーティング）は、11 月 20 日（土）直江津駅前ホテルハイマートにて開催しました。

昨年より COVID-19 の感染拡大でロータリー活動が延期、中止などいろいろ影響してきましたが、ここに来てワクチン接種等の結果ゆえか、国民の予防意識の高揚からか、感染者数の減少で開催を判断して当日を迎えました。また、好天にも恵まれ、2 年ぶりの催しとなり 125 名のロータリアンが集い、久しぶりに友情の輪を感じた 1 日でした。

第一部の式典は、ご来賓に上越市長（代理副市長）、大谷パストガバナー、本山第 7 分区ガバナー補佐エレクト、次年度ホストクラブの高田 RC 中田会長のご出席をいただき挙行了しました。

第二部「パネルディスカッション」は、パネラーを 7 ロータリークラブ会長にお願いしました。最初に、大谷パストガバナーより、「ロータリーの過去・現在・未来」と題して卓話をいただき、その後、大谷パストガバナーには、司会者の横で助言者としてお願いしました。尚、各クラブには、前もってアンケートをお願いしました。内容は、「将来へのビジョン」、「ロータリー精神の涵養」、「会員増強」、「退会防止」、「委員会活動」、「奉仕活動」、「広報活動」等です。

進め方は、まず会長より各クラブの戦略計画の報告、その後、特に注目すべき内容の詳細な報告、会場との意見交換です。この取り組みを通しての収穫は、各クラブの活動内容が把握できたことです。会場との意見交換では、分区内の各クラブの取り組みに一体感が生まれたように感じました。最後に、大谷パストガバナーより講評をいただき終了しました。

第三部の懇親会では、「謙信公武将隊の演舞」によるオープニングセレモニーで始まり、和やかに懇親を深めました。

この IM を通して、第 7 分区が高尾ガバナーの方針に沿って絆を大切に、次の取り組みに一丸となって邁進することを願ってやみません。





## クラブ近況報告

村上ロータリークラブ  
会長 渡辺 明

村上 RC では、コロナ禍の中ではありますが、本年度は、感染防止対策を徹底しながらも例会の通常開催を行ってまいりました。残念ながら、毎年恒例の親睦家族納涼会は中止せざるを得ない状況となりましたが、それ以外の事業については、順調に進んでいるところであります。

ガバナー公式訪問では、第1分区9クラブの中で唯一リアル開催を希望させていただき、高尾ガバナーにはご多忙のところ、わざわざお越しいただきました。大変申し訳ないという気持ち以上に、高尾ガバナーに直接お会いしお話できたこと、村上 RC メンバーが交流できたことに喜びと感動を得たところであります。適切なお指導を賜りましたことを心より感謝申し上げます。

10月16日には、岩船地区明神橋の清掃を行いました。毎年開催しているのですが、岩船大祭の重要な橋ということで、大祭前に地域の方を交えて EM 菌を使つての清掃、EM 団子を河川に投入し環境美化、河川の浄化に努めました。

今後一番の課題は、会員増強です。親睦ゴルフ大会や夜間例会にこの人はずいぶんという方に参加していただき交流を深めていくことと、例会に卓話者としてお願いすることできっかけづくりに努めてまいります。

今後の事業としては、メイン事業でありますイタヤカエデの植樹を5月に開催予定です。イタヤカエデは、村上のおまつり屋台で重要な大八車の部材です。近年イタヤカエデの大木が減少し、部材の入手が難しくなっており、100年後を見据えて地域の小学生も交えて植樹する予定です。

「ロータリーを学び、ロータリーを広げよう」を基本に、利他の心をもって楽しく進めてまいりたいと思えます。





## ロータリーの歴史から学び、 奉仕を実践しよう

新潟ロータリークラブ  
会長 石橋 正利

新潟ローターアクトクラブ例会で、会員の皆さんに、卓話をさせていただきました。

まずは、漫画本「ポール・ハリスものがたり」と「米山梅吉ものがたり」を寄贈してもらい、ポール・ハリスさんと米山梅吉さん、二人の出会いなど、ロータリークラブの歴史を「日本のロータリー 100周年を祝う会」の映像で紹介しました。

それから、新潟ロータリークラブ会長としての今年度テーマ「知人から友人へ、奉仕の心を持つロータリアンへ」を掲げた背景と、国際ロータリー会長シェカール・メータさんのテーマ「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」の事例として、ウォルト・ディズニー氏が、ディズニー開園時に語られた『私はディズニーランドが、人々に幸福を与える場所、大人も子供も、楽しい思い出を作ってもらえる様な場所であって欲しいと願っています。』から、超私の奉仕と職業奉仕の実践者であることを伝えました。

ロータリーの奉仕理念については、他人に役立ちたいという心を実践しているモデル組織として、中越地震で当時 2 歳の皆川雄太くんを命懸けで救い出してくれたハイパーレスキュー隊を紹介させてもらいました。

最後に、「プラスの言葉と感情と表情」で周囲に奉仕しようと提案しました。

そこで、ペアになってもらって、「私は、誰の役にも立っていません。すごく悲しいです。」と言った場合と「私は、皆の役に立っています。すごく嬉しいです。」と言った場合で、指のリングの力が入るか、入らないかを体験してもらいました。

最後に、会員の皆さんからこんな感想を頂きました。

★ロータリーの歴史の映像を見たことがなかったので、大変ためになりました。自分たちがどんな奉仕ができるか、改めて奉仕の大切さを考えるきっかけとなりました。

★リングの体験は、言葉の力を身をもって感じる事ができ、日々の生活の中で肯定的な言葉や感情を大事にしていこうと思いました。大変貴重なお話をありがとうございました！





## クラブの近況報告

新潟万代ロータリークラブ  
会長 池田 登実男

新潟万代ロータリークラブの例会開催状況ですが、今年度スタートの7月には、高尾ガバナーをお迎えし、新型コロナウイルスの感染対策を行いながら、通常例会を開催しております。8月からは新型コロナウイルスの影響を考慮し、書面例会を含めて開催をしております。10月からは、感染も少なからず落ち着いてきましたので、通常例会を開催しております。今後も第6波などの発生が予測されると思いますので、十分な対策を行いながら実施して行こうと思います。

また、12月1日には「新潟市立東特別支援学校」へお邪魔し、**キルティングマット**の贈呈式に行ってきました。これは社会奉仕活動の一環として行っており、今年度で3回目となります。内容といたしましては、私どもで支援・協力をさせていただいている「特定非営利活動法人新潟あさひの会」様が、運営しています「あさひ共同作業所」の皆さんから製作していただいた**キルティングマット**を新潟市立東特別支援学校へ贈呈するものです。「あさひ共同作業所」の皆さんからは**キルティングマット**を製作することで喜んでいただき、その**キルティングマット**を「新潟市立東特別支援学校」に贈呈することで生徒さんたちに喜んでもらえるという、1つのことを行うことにより2つの成果を得る「一挙両得」な社会奉仕活動となりました。





## クラブ近況報告

白根ロータリークラブ  
会長 田伏 厚志

あけましておめでとうございます。新春を迎え、謹んでご挨拶申し上げます。

昨年、一昨年と新型コロナパンデミックで、世界中がパニックに陥っています。それが原因でしょうか、個人・企業・社会全体の価値観、あるいは視点が変化しているように感じます。視点が変わると判断も変わります。何が大切で、何を信ずるべきか問われているように思われます。岸田総理は、「新しい資本主義」を掲げました。しかしながら、新型コロナ対策を省みてみますと、国の全国一律の対策は、必ずしもうまくいったとは思われません。今、政治経済において地方の独自性が問われている時期ではないでしょうか。

さて、当白根ロータリークラブの半期を振り返りますと、コロナ禍ではありましたが、一日も休まず通常の例会を開催させていただきました。7月には、米山奨学生の金大新の歓迎会を開催しました。8月には、「第41回白根ロータリークラブ杯争奪中学生野球大会」を開催しました。子供たちの一生懸命にプレーする様子に感動しました。少子化のせいでしょうか、男の子に混じって女の子がピッチャーをやったり、サードを守っている姿を見まして驚きました。10月には、姉妹クラブ韓国光明クラブとのZOOMによる例会も開催しました。毎週の例会は、中原市長をはじめとして、20人弱のゲストスピーカーをお呼びして楽しく開催させていただきました。後残すところ6ヶ月です。もうひと踏ん張りしたいと思います。皆様のさらなるご発展を祈念致します。





## クラブ近況報告

三条東ロータリークラブ  
副会長 井上 正栄

当クラブでは、3年前より『未来創造委員会』を設け、活動してまいりました。

設立理由として、中長期的視野に立ち組織の在り方や活動を検討し、単年度制の弊害をなくしていこうと考えました。歴代会長のもと、それぞれの年度で会を盛り上げてきましたが、その反面、中長期的な視野に欠けていることは否めませんでした。

『未来創造委員会』は、単年度制ではなく、複数年の任期で運営されます。『未来創造委員会』は、意見提言の委員会であり、実行を伴う委員会ではありません。理事会や委員会などへ意見を提言し、それぞれでの協議を経て各委員会が実行していきます。

未来創造委員会の初代委員長のリードのもと、新人・若手・中堅・ベテランという構成メンバーでスタートしました。まずは、『三条東ロータリークラブの理念を作りましょう』ということで、活動スケジュールにそって約半年後に目標を決め、クラブフォーラムを開き、全メンバーに問題提起しディスカッションを繰り返し、私たちの理念を決定しました。

### 三条東ロータリークラブ活動理念

1. 私たちは、「いのちを守る」活動をします。
1. 私たちは、変化に適応しクラブの明日をつくります。
1. 私たちは、自由闊達で和気あいあいとしたクラブをつくります。

発展している企業・活力ある企業には、品質目標や社訓など、具体的な目標や理念があるものです。クラブ活動も同じ事と推察いたします。また、画餅にすることなく、すべての会員が理念の必要性を理解してくれるよう啓蒙していく必要があります。また、「四つのテスト」など、ロータリーの理念を軽視していることではありません。

理念制定後、『魅力あるクラブづくり』計画をスタートさせるべくクラブフォーラムをスタートさせました。ウイルス騒動で停滞を余儀なくされましたが、活動再開の時機到来と思います。

そして、今までのクラブフォーラムでの言いたいことが言い合える意見交換が、会員一人一人への意識変革を大なり小なりもたらしてきたようです、各委員会が自主的に、そして前にも増して活発に再開しました。

各委員会や理事会の討議を経て、『増強と魅力あるクラブ』は切り離せない両輪であるという認識のもと、クラブ活動が活性化しつつあり、すでに2名の増強を果たしています。

さらなる、『魅力あるクラブづくり』の為、各委員会が活動に取り組めるよう会長のリーダーシップのもと、会員の総力で頑張りたいと思います。



## 変化に対応できる柔軟な発想

柏崎ロータリークラブ  
会員 長澤 弘樹

新型コロナウイルス感染症の影響により、この2年近く、私たちの生活は大きく変化し、誰もが想像しなかった不安で辛い日々を過ごしてきました。また、社会も大きな変革期を迎えています。環境問題、エネルギー問題、そして人口問題などの社会的背景と、人工知能・バイオテクノロジーなどの科学技術の飛躍的進歩により、私たちが培ってきた経験や常識が役に立たないほどの爆発的な変化をしています。そして、この激しい社会の変化に対応するため、社会は先入観にとらわれ変わることのできない人材ではなく、柔軟な発想ができる人材を求めていると思います。

新型コロナウイルス感染症の影響により、柏崎ロータリークラブの運営にも大きな支障が生じておりますが、卓話は会員2名が5分ずつ、お弁当持ち帰りの時間短縮で例会を行っています。今後も柔軟な発想で、全員で力を合わせ、この難しい局面を乗り越えていければと思っております。



## クラブ近況報告

津南ロータリークラブ  
会長 村山 壮

今年度の例会運営は、前年度に引き続き、短縮例会を継続しています。握手タイムはひじタッチで代行。弁当は基本持ち帰り。卓話はフリーとし、話したい会員がいれば、その都度発表していただいています。COVID-19 の感染状況を注視しながら、徐々に通常例会に戻していきたいと考えています。

10月は、年2回実施している草刈りを行いました。ニュー・グリーンピア津南敷地内にある「地球温暖化防止に手を貸そう！ロータリーの森」と、「沖の原段丘桜」の2班に分かれて、久々に心地よい汗を流しました。皆と一緒に作業することで、足並みが揃い、気持ちが一つになります。

11月は、財団地区補助金を利用して、まつのやま学園にプロジェクター代金の一部を助成し、贈呈式を行いました。校長の感謝の言葉がとても嬉しく、心に響きました。是非、子どもたちの学習に役立てていただきたいと願っています。

12月下旬には、恒例の津南町柔道・剣道スポーツ少年団に、1年間練習を頑張った褒賞としてメダルを贈呈する予定です。また、津南町社会福祉協議会へ歳末たすけあい募金を寄付します。

COVID-19 の影響で長期間、会合や奉仕活動が制限を受けている現状で、休会や中止、または延期に慣れてしまって、「ロータリー活動に取り組む意欲がなくなった」、「熱が冷めてしまった」という方もいらっしゃるのではないのでしょうか。会員の退会の要因にならなければいいのですが…。これが喫緊の課題と考えます。





## クラブの近況 ～ IM を主催して～

越後春日山ロータリークラブ  
会長 稲葉 摩利子

越後春日山ロータリークラブは、創立して 28 年目の若いクラブです。第 7 分区でも末っ子。普段は親クラブから受け継いだロータリー精神で日々過ごし、兄弟クラブに助けられ、楽しくロータリーライフを送っています。それが、本年度はクラブ始まって 2 人目となるガバナー補佐がお出になり、IM を主催させていただく年でクラブ内は少し忙しくなりました。

折しも COVID-19 の影響が私生活やビジネスシーンに現れ、このパンデミックに翻弄された当クラブは、2 年連続で 2 ヶ月も例会を休会にしました。加えて、本年前期の大切な社会奉仕事業の「義の塩づくり体験」も、延期せざるを得ませんでした。そのような中、リモート会議が続き、例会出席も誰もが ZOOM で参加できるようにと練習を始めたり、いきなり訪れた新しい運営の仕方にほぼ全員が戸惑いを隠せない…そんな状況でした。その中でガバナー補佐をはじめ、IM 実行委員は、収束したらリアル開催で、そうでなければ COVID-19 対応で実施すると、2 種類の覚悟で準備を進めておりました。たくさんの不安の中での準備でしたが、全国的にも新潟でも様々な緩和もあり、リアル IM を無事に終えることができました。若いクラブの主催、COVID-19 禍。第 7 分区のロータリアンの皆様からたくさんの心配と期待の入り混じった激励をいただいております。皆様がお帰りの際に「ご苦労様、楽しかったよ!」、「ありがとう! がんばったね。」等とってくださり、ほっとしました。

クラブ内でも様々な場面でご尽力下さっている風間パスト会長がガバナー補佐として務められる IM を成功させたいと、先のクラブ戦略計画で会長を託されてきた若いリーダー達を中心となり、パスト会長の皆さんの導きでクラブ丸となることができましたと感じています。COVID-19 のパンデミックを今回は乗り越え、会合の新しい運営を学びつつも、対面して友情を交わすことの大切さを再確認し、末っ子クラブはまた 1 つ成長することができました。この IM 主催の大きな経験の中から、また新たなリーダーが生まれ増強の意味を深く理解し、来たるべき自分達の時代にどのように繋いでゆくか思い描いていることでしょう。

本年度の第 7 分区の大きな事業をお手伝いさせていただいたことに感謝し、日々ご指導くださった風間ガバナー補佐に心より御礼申し上げます。また、温かく見守り励ましてくださいました、大谷パストガバナーをはじめとする第 7 分区の皆様、本当にありがとうございました。そして、私達は、これからも楽しく元気に、真のロータリアンになれるよう学び続けて参ります。

第2560地区 2021-22年度11月末 会員数および出席報告

R C	例会数	My Rotary アカウント 登録率	会員数			
			2021年 7月1日	11月末 会員数	うち女性	増減
第1分区(9クラブ)	／	-	372	380	33	8
新発田	4	26.9%	93	93	0	0
村上	4	17.9%	38	39	9	1
水原	3	21.9%	32	32	1	0
中条	3	84.1%	41	44	3	3
新発田城南	4	17.9%	40	39	3	-1
豊栄	3	13.0%	20	23	2	3
新発田中央	2	4.3%	44	47	4	3
中条胎内	4	52.8%	36	36	6	0
村上岩船	3	25.9%	28	27	5	-1
第2分区(9クラブ)	／	-	433	450	25	17
新潟	4	22.7%	82	88	2	6
新潟東	4	16.7%	62	66	8	4
新潟南	3	32.1%	105	109	3	4
佐渡	2	100.0%	6	5	0	-1
新潟西	4	50.0%	39	40	2	1
佐渡南	2	12.2%	40	41	4	1
新潟北	5	28.9%	37	38	0	1
新潟中央	4	38.1%	21	21	0	0
新潟万代	3	52.4%	41	42	6	1
第3分区(6クラブ)	／	-	97	99	5	2
新津	2	11.8%	17	17	1	0
村松	4	66.7%	12	11	0	-1
五泉	4	0.0%	11	11	1	0
白根	4	30.0%	29	30	1	1
新津中央	4	29.2%	22	24	2	2
阿賀野川ライン	4	0.0%	6	6	0	0
第4分区(11クラブ)	／	-	366	367	28	1
三条	2	12.3%	56	57	0	1
燕	3	6.1%	34	33	3	-1
加茂	4	8.8%	33	34	6	1
三条南	3	13.6%	44	44	2	0
分水	4	79.3%	29	29	4	0
見附	4	4.8%	21	21	1	0
吉田	3	6.5%	28	31	3	3
三条北	4	5.3%	58	57	2	-1
巻	3	0.0%	25	23	3	-2
田上あじさい	4	14.3%	7	6	1	-1
三条東	4	6.3%	31	32	3	1

R C	例会数	My Rotary アカウント 登録率	会員数			
			2021年 7月1日	11月末 会員数	うち女性	増減
第5分区(7クラブ)	／	-	296	302	25	6
長岡	4	80.0%	45	45	3	0
柏崎	2	2.4%	41	41	0	0
長岡東	3	29.1%	52	55	3	3
柏崎東	2	17.4%	45	46	3	1
栃尾	3	12.0%	25	25	0	0
長岡西	4	19.6%	50	51	4	1
柏崎中央	3	23.1%	38	39	12	1
第6分区(6クラブ)	／	-	122	125	10	3
十日町	3	28.1%	32	32	4	0
小千谷	4	10.3%	30	29	3	-1
雪国魚沼	3	20.8%	20	24	2	4
十日町北	3	0.0%	18	18	0	0
津南	4	18.8%	16	16	1	0
越後魚沼	3	16.7%	6	6	0	0
第7分区(7クラブ)	／	-	312	319	23	7
高田	3	31.1%	72	73	5	1
直江津	3	31.9%	69	69	6	0
新井妙高	2	11.8%	31	34	1	3
糸魚川	4	72.1%	41	43	3	2
高田東	5	63.9%	36	36	3	0
糸魚川中央	4	50.0%	28	28	0	0
越後春日山	4	100.0%	35	36	5	1

クラブ数	55	クラブ
7月1日 会員数	1,998	人
11月末 会員数	2,042	人
女性会員数	149	人
純増減会員数	44	人
My Rotaryアカウント登録率	28.2	%

## 地区主要行事予定

2021年12月25日現在

年 月 日		行 事		会 場	
2022年 (R4) 高尾年度	1月	職業奉仕月間			
		8	(土)	米山記念奨学生 日本の文化を堪能する会	新潟市
		15	(土)	米山記念奨学生選考会	万代シルバーホテル
		16~20	(日~木)	国際協議会	オーランド(米国フロリダ州)
		22	(土)	高尾年度クラブ会長会	ANAクラウンプラザホテル新潟
		29	(土)	第1回ロータリー奉仕デー実行委員会	ANAクラウンプラザホテル
	2月	平和と紛争予防/紛争解決月間			
		5	(土)	第2回米山記念奨学委員長セミナー	ホテルオークラ新潟
		7~15	(月~火)	国際協議会	バーチャル
		11	(金)	加茂RC創立60周年記念式典	清雲亭山重
		19	(土)	国際協議会報告会・地区諮問委員会・第2回地区運営会議	ホテルオークラ新潟
		26	(土)	第2回地区ロータリー財団セミナー 兼 補助金管理セミナー	ANAクラウンプラザホテル
				社会奉仕委員会セミナー	

## 【新入会員】

(敬称略)

RC	氏名	入会日	会社名	役職	職業分類
巻	樋浦 裕子	2021.11.1	衆議院議員 鷺尾英一郎事務所	秘書	国会議員
高田	川上 裕一	2021.11.12	岡三にいがた証券(株)上越支店	支店長	証券業

## 【訃報】

(敬称略)

RC	氏名	逝去日	会社名	役職	職業分類	経歴・その他
佐渡	橋本 昌和	2021.11.2	(有)橋本板金工業	取締役会長	建築板金業	2014-15年度 クラブ会長 2018-19年度 クラブ会長
新発田城南	小林 太吉	2021.11.23	(有)小林電気商会	代表取締役社長	電器器具販売業	2008-09年度 クラブ会長
長岡西	須田 茂	2021.12.4	(株)アル	代表取締役	建設機械レンタル業	2016-17年度 クラブ会長



予想もしない長いコロナ禍で、私達に力をくれたのは若い日本人達でした。すぐ頭に浮かぶのは松山英樹さん、藤井聡太さん、反田恭平さん、そして大谷翔平さん達です。彼らの共通点は、小さい頃に憧れの人っていて、そして具体的な目標があったということです。その具体的な目標に向って時間を積み重ね、誰もが不可能だといった目標を達成しています。

具体的な目標をインプットすると、不思議なことにその方向に思考そして行動が向きます。それをロータリーに当てはめてみると、実現できないとされた“ポリオ根絶”を地道に35年かけ、今まさに達成されようとしています。この様に世界規模で活動していることは、現在も着々と世間に取り上げられてはおりますが、達成した暁には公共イメージとして大いにアピールできると考えます。

その様な中、今年度「ロータリー奉仕デー」のもと、環境問題に取り組み「海岸美化プロジェクト」を第2820地区が発案し、ロータリアンとその家族と共に世界規模で行われ大成功をおさめました。ローターアクター、インターアクター、米山奨学生、そして地域のたくさんの方々に参加して頂き、多くのマスメディアを通じて公共イメージアップに貢献致しました。

コロナ禍も先行きは不透明ですが、2021年11月現在の状況として日本の新規感染者は、世界が奇跡と驚くほど減少しています。その理由はまだ誰もわかっていませんが、日本人の特性の清潔感そして他人を思いやる心が何らかの形で寄与している可能性があると思います。さらにロータリーは素晴らしい資質、キャリアそして人間力を持ち合わせた他に類のない人材の宝庫です。この「海岸美化プロジェクト」が多方面に伸び、又それらが長期にわたる可能性を秘めていると確信しております。

冒頭のもう一つのヒントは、なるべく若い時からロータリーの情報に接してほしいということです。公共イメージにおいて10年、20年の長期目標として、若者にロータリーの真髄を浸透させ、将来ロータリーに参加してもらう具体的なプロジェクトのプランも大切であると考えます。卓話などはロータリー内だけでなく、地域の学校などに出向くことも視野にいれ、又もし地域で若者のインフルエンサー等が存在していたら、ロータリーのアドバイザーになって頂くのも一考であります。そして漫画、アニメなどでロータリアンが如何に心豊かに人生を送れるかなどをわかりやすくアピールしたいものです。

この様に、地域を良くしたいとの熱意を世界に発信してアピールできること程公共のイメージアップに繋がることはありません。これからの活動を応援し、また皆様の御協力を御願い致します。

第1地域 ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 保延 輝文(石岡RC)



皆さんのクラブでは、せっかく入ってきた新会員が3年も経たずにクラブを辞めていくケースがありませんか？ しかも、それが頻繁であるとコトは厄介かも知れませんよね。

その原因を探ったことがありますか？

その原因について、私の経験を踏まえて分析し、その障害を取り除き、新会員がクラブが楽しいと思うようになるための方策をお教えしましょう。

### 原因①シニア会員が自ら自覚すべきことを正しく認識していないこと

特に会長を経験したシニア会員は、もうクラブ内の運営については卒業した気分になって協力的ではなくなるのだ。クラブのことより、自分のことが優先するとの考えを持つ人がいる。

「俺はいままでクラブに十分に協力してきた。もういいだろう」という感覚だ。でも、クラブを辞めようとはしない。ロータリアンとしてのステータスは保持したいのだ。特に、各種の寄付金やニコニコボックスへの協力などには極めて消極的で、若手に対する手本になっていない。

また、せっかく入ってきた新会員なのに、シニア会員が上手におもてなしを出来ないことから新会員が居心地の悪さを感じ退会していくという場面が何度となくあった。その理由の一つに、シニア会員が自分たちの仲間とだけ同じテーブルに座り、他の会員を寄せ付けない傾向があることだ。こういったシニア会員たちは言う。

「別に新会員を邪険にしているわけではない。向こうから胸襟を開いてくればいいことだ」例会は週に一回のこと、自分の仲間と一緒にいたい気持ちも分からないわけではないが、緊張している新会員のために、彼らの緊張を緩和してあげる役割も現役会員にはあると思う。新会員にしてみれば、せっかく入ったロータリーだ。出来るだけいろいろな人と仲良くなりたいと考えるのは自然なことだ。それに応えるのは、現役会員たちの責務だ。立派な先輩は、まず自分から新会員に話しかけ、席に案内し、隣りに座って雑談に応じる、という態度を取ってくれる。

私がクラブ会長るとき、日本のロータリークラブの創始クラブである東京ロータリークラブへメークにいったことがある。帝国ホテルの大会場に高崎クラブの会員10人を連れてお邪魔をした。その際に受けた先方の会員たちのフレンドリーでフランクな対応には痺れたものだ。流石は東京ロータリークラブだ、という感想を皆が持った。見渡せば、テレビで見掛ける顔ぶれがたくさんいる。そういった人たちが皆、親切なのだ。ロータリアンの鑑を見た気がした。

### 原因②新会員へのフォローが不足していること

新会員は、近い将来その周辺の友人たちを連れてきてくれるキーマンであり、その反面彼らを失う(クラブを辞める)ことはその周辺の新会員ターゲット層を根こそぎ失うことを意味する。彼らが、クラブに居続けることは有意義だと思える環境を作ることが大切なのだ。それには、彼らの紹介者やクラブのシニア会員、会長や幹事の役員たちのバックアップ(フォロー)が必要だ。また彼らに対し、単にお客様のようなおもてなしをするのではなく、彼らがロータリーを知り、好きになり、楽しむようになる教育を提供することが大切なのだ。それは本来、彼らを迎え入れたクラブが責任を持って取り組むべきことなのだが、それが出来るクラブは少ない。彼らはロータリー知識を得る機会が与えられることなく、ただ例会に出席し、ポツネンと昼メシを食って帰るだけのロータリー活動になってしまう。これでは続くはずがない。

### 解決策①例会場での着席場所を毎回抽選にした

そこで、毎週、例会において同じテーブルに同じ会員、グループが座らない工夫として、私は着席場所を一年間、毎回抽選にした。そうすれば、会員は毎回いろいろな人と交流ができる。なんと楽しいことか、と独りで納得した。ところがそう決めた途端、シニア会員から多くの叱声、罵声が飛んできた。しかもその声は私ではなく、私の女房役の幹事に対して向けられた。でも、幹事はこう言ってひるまなかった。「これは、田中会長が決めたことです。田中さんは他人の言うことは聞かない人です。皆さん、ご存知でしょう？」

その後は、誰からもその件についてのクレームはなかったという。良いと思ったことはやり遂げることが大切だ。

### 解決策②メークを奨励した

私の会長年度では、「KOC (Know Other Clubs) キャンペーン」(他クラブを知ろう)というメーク奨励のイベントを行った。一年を通じ、他クラブへのメーク回数が一番多かった会員を会長が表彰するというものだ。その効用は次のとおり。

- i 他クラブに行って友人に会い、情報交換ができる。
- ii メークを知らない新会員を連れて行き、他クラブの雰囲気を経験させることができる。
- iii 他クラブにおける見習うべき点を知り、自クラブの運営に取り込むことができる。

実際、こういうことがあった。

- i 高崎市外の他クラブにメークに行って、ロータリーに入りたいという高崎の経営者を紹介してもらったケース
- ii 高崎市外の他クラブにメークに行って、高崎への転勤の報告とそのクラブに退会の挨拶をしている人を見かけ、クラブに誘ったケース
- iii 他クラブにメークに行って、その場で同業者から仕事が回ってきたケース
- iv 他クラブにメークに行って、合同の社会奉仕活動が決まったケース

以上、すべて実話である。つまりは、数多くのメーク経験が多くのチャンスに巡り合わせてくれる、という当然の帰結である。

KOCキャンペーンの一等賞は、なんと一年に**32回**のメークをした会員だった。

最近、私はKOCキャンペーンに続き、「メーク・ツアー」という他クラブ訪問の企画をしている。一人では訪問出来ないという若手会員数人を引き連れ、私がおその案内役を務めている。これまでに、国内のクラブはもとより海外のクラブにも数回行った。その経験者は延べで**150人**を超えている。皆、メークのベテランになった。

その他、解決策はたくさんある。皆で考えて、苦勞して、会員増強活動の結果入ってきてくれた新会員を簡単には失わないで欲しい。

以上は、拙著『ロータリークラブに入ろう！』(幻冬舎ルネッサンス新書・2021年6月刊)から抜粋した。詳しくは、拙著を参照してください。

第1地域 ロータリーコーディネーター補佐 田中 久夫(高崎RC)



## 1. 【訃報】 理事長 齋藤直美氏 逝去

当会理事長の齋藤直美氏が、11月28日にご逝去されました。享年84歳でした。

故・齋藤理事長は1979年に豊田ロータリークラブに入会。2016-18年度国際ロータリー理事、2010-13年度国際ロータリー日本青少年交換委員会理事長、2006-07年度第2760地区(愛知県)ガバナーなど、ロータリーにおいて要職を歴任されました。

当会においては2018年9月から第七代理事長をお務めいただき、今年で2期2年目でした。理事長就任後は各国の学友会を精力的に訪問したほか、新型コロナウイルスの流行に伴い、奨学生の生活や健康を真っ先に憂慮し、奨学会と

して迅速な対応と情報開示を指示するなど、本奨学事業のために心を尽くされました。ここに謹んで哀悼の意を表し、お知らせ申し上げます。

学友会から続々と寄せられた追悼メッセージは当会でとりまとめ、斎藤病院を通じてご遺族へ届けてもらいました。

なお、後任理事長については、役員候補者指名委員会にて指名を受けた理事長候補者を理事会に諮り、決定されます。



## 2. 2022年の年賀状を学友がデザイン

当会では、評議員、理事、地区米山記念奨学委員長、奨学生、日本在住の学友などへ毎年約4,700枚の年賀状を送っています。来年の年賀状は、水墨画家として活躍する米山学友、姚明さん(2005-07/柳川RC)によるデザインです。姚さんはこの作品について「子虎たちが戯れる様を描きました。日本では世界の中でも特に少子化が進んでいるので、新年には虎の家族のように子宝に恵まれ、日本の社会がより活気に満ちたものになるよう、祈りを込めました」と語ります。



姚明(ヤオ ミン):1967年、中国内モンゴル生まれ。1993年に来日、福岡教育大学大学院美術教育学研究科にて修士号取得、九州産業大学大学院芸術研究科にて博士号取得。

現在、NPO 法人日中国際交流センター理事長、九州産業大学芸術学部非常勤講師、臨沂大学(中国・山東省)客員教授。日本や中国など世界各国の美術館・画廊などで個展28回。日本外務大臣賞、文部科学省文部大臣賞、中国駐日本大使館賞受賞。



画:姚明さん(2005-07/柳川RC)

ロータリー米山記念奨学会は、日本のロータリー会員によって支えられている事業です。2021学年度は日本全国で910人、これまでに世界129の国・地域から22,267人を支援しています。旧年中のご厚誼に感謝いたしますとともに、皆様にとって幸多き新年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

2022年 元旦

Rotary  
Partners of Progress  
公益財団法人  
ロータリー米山記念奨学会  
ロータリー米山記念奨学会本部〒105-0011 東京都港区芝公園3-4-15 無隣芝公園ビル3階

## 3. 寄付金速報 — 送金はお早めに —

11月までの寄付金は、前年同期と比べて3.0%減(普通寄付金:1.1%減、特別寄付金:3.9%減)、約2,100万円の減少となりました。未だ前年同期よりも減少のまま推移していますが、先月までの寄付累計額から比較すると1千万円ほど減少幅が縮まり、少しずつではあり

ますが、寄付状況も好転しているように感じられます。12月30日までに当会口座に着金した特別寄付金については、来年1月末日までに各クラブ宛に確定申告用領収証を発送します。年内お早目にご送金下さいますようよろしくお願いいたします。

## 4. 韓国米山学友会が2年目のZoom総会

11月20日、韓国米山学友会の総会が今年もオンラインで開催されました。韓国国内の学友だけでなく、日本、台湾、ネパール、タイから、また、当会からも水野副理事長、山崎副理事長、駒井常務理事、そして私、柚木が参加し、総勢74人となりました。



総会では、活躍した学友への感謝状授与、活動・会計報告、韓国米山学友会が支援する日本人奨学生と卒業生10人の近況報告、2023年に開催される「再会 in 関東」の告知が行われましたが、全体を通して日本人奨学生が同時通訳を行い、日本語で配信を聞くことができました。韓国米山学友会は今年10月に台湾米山学友会と友好関係を締結しており、署名入りの覚書と締結書も披露されました。

総会終了後、約1時間にわたり有志参加者で意見交換が行われました。コロナ禍にもかかわらず、学友会の活発な活動の様子が画面の向こうから伝わってきましたし、IT技術を駆使したスムーズな進行に感服しきりでした。

(事務局 長 柚木裕子)

## 5. 第2820地区による世界的プロジェクト

第2820地区(茨城県)をホストとするRotary TEAM JAPANの呼び掛けにより、9月12日、世界のロータリアンがそれぞれの国や地域で、市民の方々とともに海岸や河川の清掃を一斉に行う一大イベント、「ロータリー地球環境保全プロジェクト」が行われました。



しかしこの時、緊急事態宣言下にあった第2820地区では、12日当日は環境保全をテーマとするオンラインパネルディスカッションを行いました。パネリストには、米山学友5人が登場し、モンゴル・ベトナム・中国・韓国・ケニア、それぞれの国での環境問題と保全に向けた取り組みについて発表しました。

そして、本来であれば9月12日に行われる予定であった海岸清掃は、再延期の末、11月3日に開催。当日は地区内全58クラブのロータリアンとともに、米山奨学生・学友が大勢参加しました。海岸清掃に使われた軍手2,000双は、茨城ロータリーEクラブ会員となった徐佳鋭さんが奉仕として提供したものだということです。



申告用領収書は来年1月にお送りします



ロータリー米山記念奨学会へのご寄付は税制優遇を受けることができ、「税額控除」か「所得控除」いずれか有利な方式を選択できます。今年1~12月に寄付をした方には、来年1月末までに申告用領収書をクラブ経由でお送りします。12月30日(木) 当会着金分までが対象です。

米山記念奨学会事務局は、12月28日(火)~1月5日(水)の間休業させていただきます。来年は1月6日(木)より通常業務となります。

